

# 平成25年度 白老地域イオル再生事業実施報告書

## (1)空間形成事業

### ①植栽事業

平成18年度、平成19年度に植栽した陣屋地区、ポロト自然休養林地区及びポロト地区の維持管理等を継続して実施。

また、各地区において、生育観察・定期巡視を実施し状況を把握するとともに、除草・草刈作業、鹿食害対策、木道等の防腐処理作業を実施した。

陣屋地区において、昨年実施した水位確保対策、町内自生地からの移植(ガマ)は、若干改善された。

本年度は、自生地の実態調査を実施するとともに、昨年に引き続き、陣屋地区に移植し、新たに町内2カ所(ヨコスト地区、ポロト地区)にガマ各40本位を移植した。



ポロト地区草刈作業



ポロト地区木道防腐処理



自然休養林地区定期巡視



自然休養林地区鹿害対策



自然休養林地区鹿害対策



町内自生地実態調査(フシコベツ川)



ポロト地区ウツナイ川への植付作業



ヨコスト地区への植付作業



陣屋地区への植付作業

# 平成25年度 白老地域イオル再生事業実施報告書

## ②栽培事業

アイヌの人々が伝統的文化活動を行う際に必要となる自然素材を確保するため、森野地区での試験栽培を引続き実施するとともに、ヨコスト地区で海浜植物の試験栽培を実施した。

また、穀物(アワ、ヒエ、キビ)、苗木、有用植物、海浜植物の保育、定期巡視を随時行い生育状況を記録するとともに、収穫物については伝承者育成事業、体験交流事業に利活用した。

本年度の収穫量(精米後)はヒエ21kg、アワ1kg、イナキビ17kgで、夏場の天候不順の影響か、昨年より悪かった。また、昨年に引続き、樹木移設作業を実施し、穀物畑から104本、野草園から16本、計120本を移設するとともに、鹿対策として移設樹木にネットを設置した。

ヨコスト地区では、8月、害虫にハマボウフウの80%位被害を受ける。本年度も町内自生地から種を採取し、地区内外に植付作業を実施した。



森野地区草刈作業



樹木移設作業



野草園整備作業



穀物栽培地草取作業



穀物収穫作業



穀物収穫作業



穀物脱穀作業



ヨコスト地区定期巡視(害虫被害)



ハマボウフウ種植付作業

# 平成25年度 白老地域イオル再生事業実施報告書

## ③空間整備(コタンの再生)

ポロト湖畔地区において、アイヌの人々の歴史や自然観に根ざした工芸技術等の伝承活動の場や、自然と共生していたアイヌの人々の知恵を学習するため、コタン再生ゾーンを活用して、チセの歴史や生活及び伝統的遊び体験、チセ活用事業で刺しゅう、ゴザ編み、木彫の伝統工芸の実演、体験、山のイオル冬の遊び体験等を実施した。

復元したチセ(4棟)の薫煙作業と周辺の清掃、草刈作業を実施。また、チブ(丸木舟)とイタオマチブ(板綴り舟)の適正な維持管理の実施。

チブ及びイタオマチブについては、4月28日にアイヌ民族博物館の協力によりチブサンケ(進水式)を開催した。



1号チセ屋根修復



チセ周辺草刈



チセ活用事業



チブサンケ 1



チブサンケ 2



チブサンケ 3



舟屋



チセ(1・2号)



チセの活用風景(チブ祭カムイノミ)

# 平成25年度 白老地域イオル再生事業実施報告書

## (2)空間活用事業

### ①体験交流事業

地域内の各種事業と連携を図りながら、イオル空間を活用し、アイヌ文化に係る様々な体験事業を実施した。全31講座を開講し、252人の参加があった。(24年度:25事業962人参加)

- ・海のイオル体験交流事業(地引網2回262名、食文化体験1回14名)
- ・山のイオル体験交流事業(有用薬用植物学習14名、森のアイヌ文化体験33名、  
穀物採取体験16名、冬の遊び21名)
- ・川のイオル体験交流事業(マレク・ラウオマフ・サケ解体等 2回87名)
- ・アイヌ文化体験・体感交流事業(教職員対象107名)
- ・ミニ体験交流事業(計12回 132名) ・アイヌ文化の普及啓発出前講座(9回)



海のイオル(地引網)



海のイオル(地引網)



森のアイヌ文化体験



秋の穀物採取体験



川のイオル



川のイオル



体験・体感交流事業(教職員)



トノ作り(ミニ体験)



パズル作り(ミニ体験)



ゴザ編み(ミニ体験)



北光小学校での講話(ムクリ体験)



本室蘭中学校での講話

# 平成25年度 白老地域イオル再生事業実施報告書

## (3)空間の管理運営

### ①しらおいイオル事務所「チキサニ」運営事業

教育型イオル事業運営の拠点として、アイヌの人々が主体的に空間の管理運営を行うとともに、アイヌの人々や広く一般に対して、アイヌ民族の歴史や文化に関する学習機会や情報を提供する場としての活用や、体験交流事業の実施等により多くの方に利用された。



チキサニにおける活動状況 1



チキサニにおける活動状況 2



チキサニにおける活動状況 3



チキサニにおける活動状況 4

### ②管理運営事業

白老地域のイオル再生事業全体については、町が総合的に管理運営し、地域の実施計画のとりまとめや、関係機関との連絡調整を行っている。

白老町アイヌ施策推進Gでは学芸員1名を配置し、各種事業の指導・協力など白老地域におけるイオル再生事業について総合的な調整を行っている。